

年 月 日

枚方市長

団 体 名
主たる事務所 〒
の 所 在 地
代表者氏名
担当者氏名
TEL
連 絡 先 FAX
E-mail

枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付申請書

枚方市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、下記のとおりNPO活動応援基金補助事業補助金の交付を申請します。

記

1. 補助対象事業の名称

2. 補助対象事業の目的、内容、効果及び公益性等
別紙「事業計画書（様式第4号）」のとおり

3. 補助金交付申請額及びその内訳

金 円

※内訳については、別紙「事業収支予算書（様式第5号）」のとおり

4. 添付資料

その他参考となる書類

事業計画書

団 体 名		
事 業 名 称		
事業実施期間		(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 年 月 日 ～ 年 月 日
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入	(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること)
		(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること)
		(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること)
		(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること)
	事業実施期間の視点(単年度)で記入	(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること)
		(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 <枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) <確認方法> (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること)

2. 事業内容等	(1) 事業の対象者 (例: 枚方市内に住む 10 代から 20 代の人 など具体的に)
	(2) 事業の実施場所 (移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること)
	(3) 事業内容
3. 実施スケジュール	(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可
4. 事業実施の体制	(1) 人員体制 (実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること)
	(2) 事業対象者の見込み数 (例: 参加者●名など現時点の想定人数を記入すること)
	(3) その他の体制 (寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること)
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること)

6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	
7. 事業のPR方法	(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること)
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	助成金等の予定 有り（申請中を含む） ・ 無し（本補助金のみ） 助成金等の名称（ 申請中の場合、申請結果が確定する予定日（ 令和 年 月 頃の見込み）
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	

事業計画書

団 体 名		特定非営利活動法人●△■○▲□
事 業 名 称		みんなを笑顔にする農園・夏休み販売体験プロジェクト事業
事業実施期間		(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和○年4月1日～令和○年3月31日
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入	(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) ・ 枚方市をはじめとする日本国内での農業の衰退の解消
		(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) ・ 幼少期に見られた田んぼや畑が周囲からなくなっていることに気づき、 子どもにも田んぼや畑から体験を得る機会を与えたいと考えたため。
		(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) ・ 農作業従事者の高齢化や後継者不足による農業従事者の減少
		(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) ・ 若い世代に農業に対する興味を持てる機会を提供し、将来の農業の担い手を育成する。
	事業実施期間の視点(単年度)で記入	(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) ・ ○○地区における休耕地の増加を解消する
		(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 <枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・ 枚方市の子どもやその親世代が農業に触れる機会を提供することで、豊かな教育環境を確保できる。 ・ 地域の世代交流を促進することが出来る。 ・ 休耕地の減少により、市内の農産物の活性化に繋がる。 <確認方法> (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) ・ プログラム参加者にアンケートを実施する。

2. 事業内容等	(1) 事業の対象者（例：枚方市内に住む 10 代から 20 代の人 など具体的に） ・ 農作業に興味のある人（居住地は問わない） ・ ○○地区の小学生 及び 市民 (2) 事業の実施場所（移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること） ・ ○○地区の田畑（枚方市○○近辺） ・ ○○地区集会所（枚方市○○） (3) 事業内容 農作業体験に興味のある人を募集し、未活用の農地を借用した市民農園を開園する。 参加者の募集は、○○地区の小学生を対象にも行い、一部の収穫した作物を使用した夏休みの販売体験会を開催し、地元の小学生や地域の高齢者が交流できるイベントを開催する。
3. 実施スケジュール	（事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること）※添付も可 ・ 4 月 借用地の調整・参加者募集・説明会などの準備 ・ 5 月 市民農園オープン ・ 6 月 地元小学校で夏休みイベントの参加者募集 ・ 7 月～8 月 地元小学生を含めた農作業・夏休み販売体験会を開催 ・ 9 月～3 月 事業成果の集約・整理、次年度に向けた準備
4. 事業実施の体制	(1) 人員体制（実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること） ・ 市民農園スタッフ：5 名（農業経験者を 3 名含む） ・ 事務スタッフ：2 名 ・ 小学生コーディネーター：4 名（学童保育スタッフ経験者を 3 名含む） ・ 販売体験会スタッフ：4 名（1 名は販売体験会の従事経験あり） (2) 事業対象者の見込み数（例：参加者●名など現時点の想定人数を記入すること） ・ 市民農園参加者：大人 10 名、子ども 20 名 ・ 販売体験会参加者：子ども 20 名、その他 50 名 (3) その他の体制（寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること） ・ 協力団体：○○地区自治会、○○小学校、NPO 法人○○ ・ 寄附者：○○地区商店組合、J A○○
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	（賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること） 財源の確保策として、地元企業への寄附のお願いを行うとともに、民間助成の活用を検討する。賛同者の確保として、○○イベントに参加する。

6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	他市で取り組まれている市民農園の事業に参加し、運営のノウハウを蓄積するとともに、借用地の所有者と交渉し、協力を取り付けた。〇〇地区の農作業体験会を令和３年度に２回開催した。
7. 事業のPR方法	(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること) ・ 地元の小学校や自治会を通じて参加者を募る ・ 各種 SNS で発信を行い、地元情報誌へ募集広告を行う
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	助成金等の予定 ☒ 有り (申請中を含む) ・ ☐ 無し (本補助金のみ) 助成金等の名称 (公益財団法人■■■■の▲▲基金) 申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和６年３月頃の見込み)
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	他市で取り組まれている市民農園や過去の農作業体験会の記録を添付します。

事業収支予算書

団体名：

補助対象事業の名称：	
------------	--

事業実施期間： 年 月～ 年 月

【収入の部】

項 目 ※ 1	予算額(円)	内容説明（積算根拠等）
枚方市補助金(一般) (A)		補助金交付申請額（一般寄附）
枚方市補助金(団体) (B)		補助金交付申請額（団体希望寄附）
自己資金		
合 計 (C)	0	

【支出の部】

項 目	予算額（円）	内容説明（積算根拠等）
補助対象経費		
小 計 (E)	0	
補助対象外経費		
小 計	0	
合 計 (D)	0	

※ 1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※ 2：収入の合計（C）＝支出の合計（D）となるように記入してください。

※ 3：枚方市補助金(一般) (A) は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
（詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること）※ 4：枚方市補助金(団体) (B) は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
（通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること）

記載例

事業収支予算書

団体名：〇〇フェスティバルの会

補助対象事業の名称：	〇〇フェスティバル開催事業
------------	---------------

事業実施期間： 令和〇年 4月～ 令和△年 3月

【収入の部】

項 目 ※1	予算額（円）	内容説明（積算根拠等）
枚方市補助金（一般寄附） （A）	171.000	補助金交付申請額（一般寄附）
枚方市補助金（団体希望寄附） （B）	100.000	補助金交付申請額（団体希望寄附）
自己資金	241.000	
入場料	100.000	参加者入場料 500円×200人
合 計 (C)	612.000	

【支出の部】

項 目	予算額（円）	内容説明（積算根拠等）
補助対象経費	会議室賃借料	15.000 準備会議用 5.000円×3日
	アルバイト人件費	160.000 設営準備 日額8.000円×2人×10日
		32.000 当日受付 日額8.000円×2人×2日
	人形製作費	10.000 生地 1.000円×10体分
		25.000 粘土 500円×50個
	会場費	100.000 〇〇会館大ホール1日レンタル費用
	運搬費	100.000 軽トラックレンタル 日額10.000円×1台×10日
小 計 (E)	442.000	
補助対象外経費	備品購入費	120.000 管理用パソコン1台（事務所設置用）
	食糧費	50.000 準備会議用軽食及び飲料
小 計	170.000	
合 計 (D)	612.000	

- ※1：事業に係る収入はすべて記入してください。
- ※2：収入の合計（C）＝支出の合計（D）となるように記入してください。
- ※3：枚方市補助金（一般）（A）は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
（詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること）
- ※4：枚方市補助金（団体）（B）は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
（通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること）

事業収支予算書チェックリスト

【収入の部】

- ☐ 1 事業に係る収入はすべて記入されていますか。
- ☐ 2 【収入の合計(C)】=【支出の合計(D)】となっていますか。
(B)が0円の場合
- ☐ 3 【枚方市補助金(一般寄附)(A)】は、令和5年度以降に今回申請する事業が、
本基金から補助を受けた回数により、補助交付申請可能額が異なります。
 - 1回目
【補助対象事業費(E)】のから【枚方市補助金(団体希望寄附)(B)】を差し引いた金額
または30万円のいずれか低い金額。(千円未満は切捨)
 - 2回目
【補助対象事業費(E)】のから【枚方市補助金(団体希望寄附)(B)】を差し引いた額の3/4以内
または30万円のいずれか低い金額。(千円未満は切捨)
 - 3回目
【補助対象事業費(E)】のから【枚方市補助金(団体希望寄附)(B)】を差し引いた額の1/2以内
または30万円のいずれか低い金額。(千円未満は切捨)

【支出の部】

- ☐ 4 事業に係る支出はすべて記入されていますか。
- ☐ 5 【支出の合計(D)】が【うち補助対象事業費の合計(E)】よりも大きくなっていますか。
- ☐ 6 【内容説明(積算根拠等)】は単価・個数などの積算根拠が明確に示されていますか。
例) 交通費60,000円 600円×5名×20日
会場レンタル費65,000円 13,000円×5日間